

会 報 ゆ う ほ ど う

平成28年5月号

【辞 令 交 付】



平成28年度は新規採用者8名、異動者6名、及び昇格者16名、職種変更者11名に対し、辞令が発令されました。谷口理事長は当法人の理念、経営方針をお話しされました。各事業所に適材適所に配属しましたので、益々の活躍を期待したいと述べられました。

【災害時避難所設置に関する協定調印】



【日南テレビ様より抜粋】

2015年5月に高台に移転した特別養護老人ホーム昭寿園（社会福祉法人敬和会 谷口弥三郎理事長）は3月30日、災害の際に避難所を設置する協定を日南市と結びました。



協定書によると、大津波警報の発表、河川の決壊の恐れがある場合、東郷地区（平山）と風田地区に避難指示を発令された際に、昭寿園の施設を避難所として使用するという内容です。海岸から約1キロ離れた昭寿園は海拔25メートル。地域交流センターと研修室それに共用スペースを含め約500人の受け入れが可能です。

～囲み取材の中で谷口理事長は「今後、風田・平山地区住民の方々と合同で津波避難訓練を行い、緊急時の備えにしたい」とインタビューに答えられました。～

【日南市民まつり出展】



3月6日 雨模様の中、日南市民まつりが開催されました。当園は、当初の20年以上前から出展しています。今回は人型ロボット「昭ちゃん」の初めての出動で、子供さんから高齢者の方まで関心の的。次から次に当園のコーナーを訪れてもらい大忙しでした。



ある方に、今日が誕生日とお聞きして、「昭ちゃん」から胸のモニターにて、「〇〇さん、お誕生日おめでとうございます」とメッセージを送ると、大変感激されました。動画による施設紹介等を併せて行い、介護、福祉に関する事業の紹介ができ、少なからず、啓蒙活動に繋がりました。

【100歳のお祝い】



暦は平成28年に変わり、1月・2月と100歳のお祝いが続き、集まった入居者の皆さんも幸せ、めでたさムードで一杯。Hさんがひな壇に登場、崎田市長からのお祝いの言葉に、表情が和らぎました。一同、益々お元気でご長寿をと祈念して。



来園者に香りを楽しんでいただきたく、旧施設より移植した金木犀とマツリカの新芽に気づき「よく頑張ったね」と独り言

【食事サービス】



【3月行事食の献立7品】

釜飯風ご飯～自慢の一品、鮭、海老、干し椎茸、栗、サヤエンドウなど具沢山。彩り良く盛り付けました。
入居者の方に大好評でした。

チキン南蛮～柔らかく調理されたお肉の上に、甘酢加減よい自家製タルタルソースをふんだんにかけました。

白和え(みつば)～爽やかな香りがアクセントになり、食欲が出るようにあしらえました。

茶碗蒸し～のど越し良さと味のまろやかさに気を配りました。

果物(いちご)～春を演出しました。

レアチーズケーキ～ふんわり舌触り良く後味も申し分ありませんでした。

リンゴゼリー～チーズが苦手の方に代替えで提供しました。

卵焼酎～鵜戸神宮から頂いた焼酎から作りました。

【熊本地震時の状況調査報告】



目的) 高台新築移転後の当園は「災害に強い施設づくり」をコンセプトに耐震設計されています。この度の熊本地震による当市の震度は4月14日が3、4月16日は4と観測されました。

防災対策の一環として上記を検証するために次のとおり調査実施しその結果を報告致します。

調査対象者) 平成28年4月14日（木曜）午後9時台
夜間帯に勤務していた介護職員・看護職員 9名

平成28年4月16日（土曜）午前1時台
夜間帯に勤務していた介護職員 7名

Q1 どこでの業務か？

☐ 5F→4名、☐ 4F→5名、☐ 3F→5名、☐ 2F→2名

Q2 業務は何をしていたか？

☐ 立って業務→9名、☐ 座って記録業務→4名、
☐ 横になって休憩中→1名、☐ 座って休憩→0名、☐ 業務前→1名

Q3 ゆれの度合はどのように感じたか？

☐ 危険を感じる程、長くぐらぐらするゆれだった。→0名
☐ 危険を感じない程度の時間も短いちょっとのゆれだった。→7名
☐ ゆれはほとんど感じなかった。→2名
☐ ゆれは全く感じなかった。→7名

Q4 あなたの地震時の心理状態は？

☐ 不安を感じ、同僚の夜勤者に連絡をした。→7名
☐ 不安は感じず、普通の業務を行った。→3名
☐ 不安を感じ、テレビ等ですぐに情報収集を行った。→8名
2名複数回答

Q5 入居者の反応は？

☐ 地震のゆれに気が付き、不安を訴えた方が多かった。→0名
☐ 地震のゆれに気が付き、不安を訴えた方が数名いた。→1名
☐ 地震のゆれに気が付くも、普通どおりであった。→4名
☐ 地震のゆれに気が付かない様子だった。→13名
2名複数回答



●考察●

敬和会職員は「地震・津波対策マニュアル」を基準に原則的に行動する。

二十 （職員体制の確保）

出勤基準

① **震度5強以上**の地震が南海トラフ又九州南部地域で発生した場合
職員自身及び家族が無事であり自宅の被害状況が軽度な時は園より連絡がなくても原則的に昭寿園に参集する。
交通路が寸断された等、交通手段がない時は待機する。

① 震度4以上震度5弱以下の地震が南海トラフ又九州南部地域で発生した場合原則自宅待機とし、園からの指示に従う。

② 震度3以下の地震が南海トラフ又九州南部地域で発生した場合対応は不要。ただし園から指示があった時は従う。

十 連絡網

昭寿園から下記法人内系統図・下記緊急連絡網に準じた連絡を行う。（連絡が取れない場合は次の人に確実に連絡する。）

2、昭寿園携帯から職員の携帯電話へCメールで送信する。
訓練が必要



ア、第1系統 **（夜間帯）**

昭寿園→理事長・園長→副園長→副園長→事務部長→職長→
ユニットリーダー→各部署職員

イ、第2系統

昭寿園→和幸園長→和幸園各職長→和幸園各部署職員

移転後、平成28年4月3日午後4時台に宮崎南部で震度4の地震が発生。揺れに気付いた職員もいましたが、気付かない職員、面会者もありました。今回の熊本地震についても同様でした。躯体は強固な岩盤に基礎工事が施されているため、構造計算をした設計士より、震度6強の地震でも揺れる程度は軽減され、強度的には影響を受けにくいとの説明を受けています。一方、**停電・断水等ライフラインへの影響は当然に大きい可能性があります。**
対策として、太陽光システム、自家発電、水道水貯水、井戸水貯水、ガスタンク2基で緊急時の対応はできる体制になっていることを敬和会職員は再度確認致しました。



芝桜のピンクも随分と
様になってきました

